

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名	子ども家庭局
-----------	--------

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進
	取組みの方針	若者・女性・中高年齢者などの就業支援

担当局 / 総務担当課名	子ども家庭局	子ども家庭政策課
連絡先	582-2550	

21年度計画

-3-(2)-

施策名	女性・中高年齢者などの雇用環境づくり
------------	--------------------

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	女性に対する能力開発講座などを実施し、女性の能力や意欲を最大限活用します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	若者・女性・中高年齢者などの就業支援

	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)		現状値		平成21年度	目標値	
	年度	平成20年度	計画	実績		年度	平成25年度
施策の成果	男女共同参画センター及び勤労婦人センターでの就業支援講座開催数		計画	131 講座	年度	平成25年度	
	就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成の支援を行うため、男女共同参画センター(ムーブ)及び勤労婦人センター(レディス)において就業支援講座を開催します。	現状値	131講座	実績	132 講座	目標値	現状維持
				達成度	100.8 %		
		年度		計画		年度	
		現状値		実績		目標値	
				達成度	%		
	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
			達成度	%			
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]			事業費	299,573 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)	
				うち一般財源	299,573 千円	66 千円	

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
	B	構成事業は目標達成に向けて着実に進捗しており、成果指標の結果と合わせて、概ね良い状況にあると考えます。
今後の局施策の方向性	施策の実現に向けて、現在の取組みを継続的かつ着実に進めるべきであると考えます。	

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価
 下記のとおり

指標としては、講座の開催数とともに、受講者数や受講した人のうち就職できた人の割合などについての検討も必要と考えます。

施策名 女性・中高年齢者などの雇用環境づくり

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性		
	C時点[21年度:執行額]					21年度	21年度	
女性のキャリアアップ・キャリア形成等への支援			299,573 千円	66 千円	義務的経費			ウ
事業費のうち一般財源			299,573 千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					

局施策全体のコスト	21年度		
	事業費	人件費(目安)	
	299,573 千円	66 千円	
施策全体の事業費のうち一般財源	299,573 千円		

局施策の
21年度評価

B

【局施策評価】
A: 大変良い状況にある
B: 概ね良い状況にある
C: 概ね良い状況とまでは言えない
D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

担当局/課	子ども家庭局	男女共同参画推進部
連絡先	582 - 2405	

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進
	取組みの方針	若者・女性・中高年齢者などの就業支援
	主要施策	女性・中高年齢者などの雇用環境づくり

関連計画	北九州市男女共同参画基本計画(第2次)
事業期間	H16～
経費区分	義務的経費

-3-(2)-

事業名	女性のキャリアアップ・キャリア形成等への支援	
-----	------------------------	--

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	男女共同参画センター(ムーブ)及び勤労婦人センター(レディス)において、就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成の支援を行い、女性の職業能力の向上により、働く場において女性が能力を十分に発揮し活躍できるようにします。	
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	女性・中高年齢者などの雇用環境づくり

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由	
		当初計画	女性向け就業支援講座の開催 ムーブ:61講座 レディス:70講座	平成21年度と同程度	平成21年度と同程度	平成21年度と同程度		平成21年度と同程度
	現状	女性向け就業支援講座の開催 ムーブ:61講座 レディス:70講座	平成21年度と同程度	平成21年度と同程度	平成21年度と同程度	平成21年度と同程度		
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)					平成21年度	目標	
	男女共同参画センター及び勤労婦人センターでの就業支援講座開催数					計画	131 講座	年度
	就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成の支援を行うため、男女共同参画センター(ムーブ)及び勤労婦人センター(レディス)において就業支援講座を開催します。					実績	132 講座	内容
	男女共同参画センター及び勤労婦人センターでの就業支援講座受講者数					計画	- 人	年度
	就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成の支援を行うため、男女共同参画センター(ムーブ)及び勤労婦人センター(レディス)において就業支援講座を開催します。					実績	7,715 人	内容
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]					事業費	299,573 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度) 66 千円
						うち一般財源	299,573 千円	
単年度計画								

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 21年度は、ムーブ及びレディスにおいて指定管理者制度を活用し、当初計画のとおり就業支援講座を開催して(講座開催数132講座、受講者数7,715人)、女性のキャリアアップ、キャリア形成等の支援を図ることができました。

【事業の再検証】			
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	女性のキャリアアップ、キャリア形成等の支援を図る上で、就職に役立つ資格取得講座や女性の起業支援講座などの多様な就職支援講座は効果が高く、女性・中高年齢者などの雇用環境づくりに寄与するものと考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	ムーブ及びレディスの運営については指定管理者制度を導入しており、効率的な事業実施を行っています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	雇用情勢の厳しい現状において、女性の就職・再就職を支援する本事業はさらなる推進が求められるもので、適時性は高いと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか、市の関与をなくすることはできないのか。	3	本事業については、現状ではまだ積極的改善措置(ポジティブアクション)が求められる分野であり、男性に比べて未だ格差がある女性の就労支援については、市が今後とも実施していくことが必要であると考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ウ	本事業は施策に対する有効性も高く、女性・中高年齢者などの雇用環境づくりを図っていく上で重要な事業であると考えており、社会情勢等に沿った講座の企画・実施により、今後も着実な取り組みを進めていくことが適当だと考えます。